

五所川原市立図書館の運営方針と重点

(1) 基本方針

生涯学習の場を提供するとともに社会の変化に対応する多様な資料・情報を収集して、広く市民の知識と教養を高め、教育・文化の向上と発展に努める。

(2) 重点目標

① 市民の生活・仕事・文化・読書活動を支援するサービスと広報の充実

ア 市民のライフスタイルや生活環境を豊かにする講習会や資料展示を継続して行う。

イ 市民の身近な生活や仕事の課題解決及び文化・読書活動を支援するため、所蔵資料やレファレンスサービス（調べものの手伝い）の周知を図る。

ウ 図書館利用が困難な方向けに、個々の事情に沿った読書機会を提供する。

エ 図書館の活動やサービスを図書館報やSNS等により積極的に広報する。

② 市民の課題解決・読書活動・歴史継承に役立つ資料収集・保存・提供の徹底

ア 各世代の、課題解決・読書活動を支える蔵書の充実を図る。

イ 郷土貴重資料の利用と保存継承のためにデジタル化を継続し、インターネット上に公開する。

ウ デジタルデータを含む行政資料の収集・保存・提供を徹底する。

③ 子どもの読書活動支援の充実

ア 市立図書館内に学校図書館支援センターを設け、また、市立図書館司書訪問支援により学校連携を進め、学校図書館活性化及び教員の多忙化解消につなげる。

イ 子ども司書養成講座を継続開催し、家庭・学校・地域に読書の楽しさ、すばらしさを伝える読書リーダーを増やし、読書推進につなげる。

ウ 子どもが読書に親しみ読書習慣を身につける機会を提供するおはなし会、工夫を凝らしたイベント・展示を実施するほか、出張貸出・配本により子育て世代への支援も行う。

エ 幼児・児童・生徒に図書館の機能・役割を知ってもらう好機であるインターンシップや見学を積極的に受け入れる。

④ 行政機関、定住自立圏域及び県内図書館、関係団体との連携促進

ア 関連事業等の実施などで連携し、サービスや資料提供をより効果的に行う。

イ 定住自立圏域住民へのより充実した図書館サービス提供のために圏域図書館間で連携しサービスを実施する。

ウ 行政と図書館の相互連携を図りながら、市の情報・資料を収集し図書館が窓口となって提供する。

エ 市民からの要望が高く、不足しがちな新刊書や専門分野資料を補うため、県立図書館や県立大学図書館の資料を積極的に借り受け提供する。